

第四系コア観察カード

調査名		孔番		観察日			
		H27 B-3					
標尺	深度	イベント・地層境界	スケッチ	マーカ	地質名	色調	堆積構造・特徴等
(m)	(m)			火山灰物 土質土 炭土 貝化石 木片			
8	8.01	8.01					
	8.37	9			土	10R 1/4 2.5M 黄褐色	8.01 ~ 8.37 m : 砂
0.5		9					8.37 ~ 9.05 m : 砂
9		9.2L				2.59Y 5/1 灰	9.05 ~ 9.66 m : 腐食した鉄管を含む砂 (一部に砂細骨材埋込み)
	9.66	9.66					
0.5		9.66					
	9.66					10R 1/2 灰黄褐色	9.66 ~ 10.03 m : 砂
1.0		10.05					(注意)
0.5							↓ 基礎部コア観察に参照
0.5							
1.2							

スケッチ: 礫はクサリ ● 半クサリ ◐ 硬質 ○ 礫種は黒雲母花崗岩Gr, 花崗斑岩Gp, アプライトAp 等
境界 明瞭 — 不明瞭 - - - 亀裂は赤線, 角度, 条線等

調査名		孔番・深度		観察日							
		H27 B-3 (10.05 ~ 15)									
標尺 10 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分				最大コア長	岩級区分	破碎度区分	記事・破碎性状・詳細スケッチ等 (着目) 「相対的観察カード」参照
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ				
	10.05										41~3% 石英、長石と斑晶と有る花崗斑岩 (Gp). 長石は白濁化が少なく多量.
05											10.05 ~ 12.96 m: C ₁ - 硬さ「c」部で 上端部の 10.05 ~ 11.20 m と中部の 11.82 ~ 12.00 m は同化の進んだ硬さ「c」部。 - 硬さ「c」部の一部で 割れ目に挟持物を 含まれる部分もあるが 多くは 同化の部で 変質粘土と脈状に 挟んである。 - 長石は 多くは 白濁化している。 - 10.70 ~ 10.80 m は 硬さ「c」の硬質部片が 残存する。
11	11.20										11.20 ~ 11.82 m 硬さ「c」部で 挟持物が多い。 - 一部は 容易度の低い 割れ目と 含まれている。 - 11.40 ~ 11.55 m 割れ目の 変遷し、岩片化が 顕著な 部分がある。
05	11.82										11.82 ~ 12.00 m: 上下部に 軽化部。 下部の 11.97 ~ 12.00 m は 粘土の 進入部。
12	12.00										12.00 ~ 12.96 m 硬さ「c」部で 割れ目の 厚さ 1% 程度と 同化の 程度が 多い。 また、割れ目は 軽度には 粘土が 下部の 一部は 無色化部。
05	12.96		Gp	久野R 7/2 明燐灰							12.96 ~ 14.62 m: D, C ₂ 上端部と 下端部は D 部、中央部は C ₂ 部の 中石の 10% 程度。 D 部は 硬さ「E」部で 粘土が 割れ目に 残存しているが 全体の 粘土の 割合は 少ない。また、厚さの 粘土と 5% 程度の 斑晶点は 幅 1~3% の 脈状に 含まれている。 - 13.64 ~ 14.30 m は 硬さ「c」部で 20 ~ 50% の 容易度の 低い 割れ目と 同様に 1 ~ 2 cm の 間隔で 分布。
13	13.64										14.22 m: 43° 幅 1% の 粘質黄褐色 粘土と 20 まで 割れ目 (S) 及び 80% 幅 1% の 石英脈と 有る (粘土量 7% 程度)。 - 14.30 ~ 14.62 m は 上端部 17° 幅 1~5% の 粘質黄褐色 粘土。下部 50% 割れ目で 固形物 粘土の 軽化部と 一部は 硬さ「E」部で 粘土が 残存し、割れ目は 粘土が 残存している。また、幅 1~2% の 粘質黄褐色 粘土と 脈状に 含まれている。
05	14.62										14.62 ~ 20.04 m: C ₂ 20 ~ 40% 割れ目 主部で、割れ目に 粘土の 割合は 少ない。また、粘土 (T) 部は 含まれている。
14	14.30										
05	14.30										
15	20.04										

調査名

孔番・深度

H27 B-3 (15 ~ 20)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 1/5 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質			
	15.33				✓	✓	D	δ	2			<ul style="list-style-type: none"> ・上端側の15.49m以下は硬2c主体、16.49m以降は硬2c主体である。 ・15.33~15.43m、風化の顕著化と含水変質の顕著化で軟化部あり。上1端の35m前後の割れ目あり。
	15.43				2	V	E	ε	3			
	16.49			2.5YR 7/2 明褐灰	✓	✓	D	δ	2	10	10	<ul style="list-style-type: none"> ・15.73~15.80m、80割れ目幅、5~15mm 単層あり。 ・16.31m、50割れ目幅 5~15mm 単層あり。白色部も一部あり。 ・16.49m、35割れ目以下は硬2c主体、一部に高層度の80割れ目を含む。 ・16.76~16.87m、10~20%の軟化部あり。軟化部は幅1~2%程度砂化。
	17.13				C	V	C	δ	2			
	17.31				C	V	C	δ	2			<ul style="list-style-type: none"> ・16.76~16.87m、10~20%の軟化部あり。軟化部は幅1~2%程度砂化。 ・17.13~17.31m、割れ目の一部は幅1~2%の軟化部も含まれる。 ・17.40~18.00m、高層度の80割れ目を含む。一部は硬2c主体、一部は高層度の80割れ目を含む。一部は風化の顕著化による軟化部あり。一部は高層度の80割れ目を含む。
	17.50				C	V	C	δ	2			
	18.04			2.5YR 7/3 100% 橙	×	×	A	α	4			<ul style="list-style-type: none"> ・17.40~18.00m、高層度の80割れ目を含む。一部は硬2c主体、一部は高層度の80割れ目を含む。一部は風化の顕著化による軟化部あり。一部は高層度の80割れ目を含む。 ・17.85~18.00m、割れ目の一部は幅1~2%の軟化部も含まれる。一部は硬2c主体、一部は高層度の80割れ目を含む。 ・18.05~18.17m、硬化変質に割れ目石量多し。割れ目硬化部あり。
	18.43				×	×	A	α	4			
	18.90			2.5YR 7/2 明褐灰	✓	✓	C	δ	2	0	5	<ul style="list-style-type: none"> ・18.43~20.04m、一部の割れ目幅も高層度の80割れ目も含まれる。硬化変質部が岩化は伴わない。 ・18.90m、50割れ目幅 1~5mm 変質部あり。
	19.59				✓	✓	C	δ	2	0	5	
	20.04				✓	✓	C	δ	2	0	9	<ul style="list-style-type: none"> ・19.59m、40と80割れ目の変質。80割れ目は40割れ目より粗い。 ・80割れ目は19.65m、幅10%の砂化部あり。下部は19.65mより割れ目閉じ、砂の硬物含有率が低い。

20.04

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 20 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分					最大コア長 ROD	岩級区分	破砕度区分	記事・破砕性状・詳細スケッチ等						
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化					変質					
0.5	20.04		Gp	2.5YR 7/2 明褐灰	✓	✓	✓	δ	2	✓	C1	20.04 ~ 20.93 m : CM 一部は垂直度。他の割れ目と含む。岩片は堅硬。長石の一部は自溶跡が。未変質の粘岩質の多い。割れ目充填物はほとんど分布しない。						
	20.15	2.5YR 7/3 暗橙		✓	✓	✓	γ	2	✓	CM								
2.1	20.93			Gp						24	14	20.93 ~ 26.70 m : C2 45°前後の割れ目主体。一部で70~90°の高角度割れ目と交差。 割れ目に薄く砂状化跡あり。部分のみ砂状化の拡大部分あり。 粗さ幅1~2% 軟質白色粘岩質に付着。 上端部の22.69 m 付近は硬2D、22.69~23.71 m は硬2C、23.71 m 付近は硬2D 主体で、硬2C 主体の部分では割れ目の充填物も分布しているものが多い。 21.55~21.65 m 付近は砂状部と硬2C 及び2D 岩片の砂状化に付着。粘岩質に付着している。 21.70~22.40 m 高角度割れ目主体で、厚さ1%以下で2% 厚さ20% 粘岩質中幅1~2%の軟質白色粘岩質に分布。 22.03~22.63 m、70~90°の弯曲した連続する割れ目。幅5~10% 砂状化。幅1~2%の軟質粘岩質に付着。 22.10~22.45 m、一部に硬2C 粘岩質。 22.50~22.64 m、上端60°幅2~3% 粘岩質、下端45°幅1% 粘岩質に付着して軟化著しく、一部で幅2.5% 白色粘岩質に付着している。 22.91~23.41 m、45°前後の割れ目が同方向に分布。粘岩質に直交する60°前後の80~90°割れ目も認められる。 23.45~23.71 m に幅1~3% 粘岩質白色粘岩質に付着。80°割れ目の分布。 23.71 ~ 24.53 は軟化(硬2D) 主体。 23.71 ~ 23.95 m、80~90°の高角度割れ目は2.5% 粘岩質。 24.06 ~ 24.22 m は硬2C 主体。 24.37 m、45° 厚さ2% 粘岩質。 24.53 ~ 26.70 m は硬2C 主体。 上位より割れ目の幅が小さくなる。割れ目は24.60~24.72 m、80~90° 厚さ1~5% の20% 粘岩質に付着している。						
	21.27				2.5YR 7/2 明褐灰	✓	✓	✓	δ	2	0		3	C2				
0.5	22.69				Gp						0	5	22.69 ~ 22.91 m 付近は硬2D、22.69~23.71 m は硬2C、23.71 m 付近は硬2D 主体で、硬2C 主体の部分では割れ目の充填物も分布しているものが多い。 21.55~21.65 m 付近は砂状部と硬2C 及び2D 岩片の砂状化に付着。粘岩質に付着している。 21.70~22.40 m 高角度割れ目主体で、厚さ1%以下で2% 厚さ20% 粘岩質中幅1~2%の軟質白色粘岩質に分布。 22.03~22.63 m、70~90°の弯曲した連続する割れ目。幅5~10% 砂状化。幅1~2%の軟質粘岩質に付着。 22.10~22.45 m、一部に硬2C 粘岩質。 22.50~22.64 m、上端60°幅2~3% 粘岩質、下端45°幅1% 粘岩質に付着して軟化著しく、一部で幅2.5% 白色粘岩質に付着している。 22.91~23.41 m、45°前後の割れ目が同方向に分布。粘岩質に直交する60°前後の80~90°割れ目も認められる。 23.45~23.71 m に幅1~3% 粘岩質白色粘岩質に付着。80°割れ目の分布。 23.71 ~ 24.53 は軟化(硬2D) 主体。 23.71 ~ 23.95 m、80~90°の高角度割れ目は2.5% 粘岩質。 24.06 ~ 24.22 m は硬2C 主体。 24.37 m、45° 厚さ2% 粘岩質。 24.53 ~ 26.70 m は硬2C 主体。 上位より割れ目の幅が小さくなる。割れ目は24.60~24.72 m、80~90° 厚さ1~5% の20% 粘岩質に付着している。					
	22.91						✓	✓	✓	γ	2	0		5	C2			
2.3	22.69					Gp						0	5	22.69 ~ 22.91 m 付近は硬2D、22.69~23.71 m は硬2C、23.71 m 付近は硬2D 主体で、硬2C 主体の部分では割れ目の充填物も分布しているものが多い。 21.55~21.65 m 付近は砂状部と硬2C 及び2D 岩片の砂状化に付着。粘岩質に付着している。 21.70~22.40 m 高角度割れ目主体で、厚さ1%以下で2% 厚さ20% 粘岩質中幅1~2%の軟質白色粘岩質に分布。 22.03~22.63 m、70~90°の弯曲した連続する割れ目。幅5~10% 砂状化。幅1~2%の軟質粘岩質に付着。 22.10~22.45 m、一部に硬2C 粘岩質。 22.50~22.64 m、上端60°幅2~3% 粘岩質、下端45°幅1% 粘岩質に付着して軟化著しく、一部で幅2.5% 白色粘岩質に付着している。 22.91~23.41 m、45°前後の割れ目が同方向に分布。粘岩質に直交する60°前後の80~90°割れ目も認められる。 23.45~23.71 m に幅1~3% 粘岩質白色粘岩質に付着。80°割れ目の分布。 23.71 ~ 24.53 は軟化(硬2D) 主体。 23.71 ~ 23.95 m、80~90°の高角度割れ目は2.5% 粘岩質。 24.06 ~ 24.22 m は硬2C 主体。 24.37 m、45° 厚さ2% 粘岩質。 24.53 ~ 26.70 m は硬2C 主体。 上位より割れ目の幅が小さくなる。割れ目は24.60~24.72 m、80~90° 厚さ1~5% の20% 粘岩質に付着している。				
	22.91							✓	✓	✓	γ	2	0		5	C2		
0.5	23.71						Gp						0	5	22.69 ~ 22.91 m 付近は硬2D、22.69~23.71 m は硬2C、23.71 m 付近は硬2D 主体で、硬2C 主体の部分では割れ目の充填物も分布しているものが多い。 21.55~21.65 m 付近は砂状部と硬2C 及び2D 岩片の砂状化に付着。粘岩質に付着している。 21.70~22.40 m 高角度割れ目主体で、厚さ1%以下で2% 厚さ20% 粘岩質中幅1~2%の軟質白色粘岩質に分布。 22.03~22.63 m、70~90°の弯曲した連続する割れ目。幅5~10% 砂状化。幅1~2%の軟質粘岩質に付着。 22.10~22.45 m、一部に硬2C 粘岩質。 22.50~22.64 m、上端60°幅2~3% 粘岩質、下端45°幅1% 粘岩質に付着して軟化著しく、一部で幅2.5% 白色粘岩質に付着している。 22.91~23.41 m、45°前後の割れ目が同方向に分布。粘岩質に直交する60°前後の80~90°割れ目も認められる。 23.45~23.71 m に幅1~3% 粘岩質白色粘岩質に付着。80°割れ目の分布。 23.71 ~ 24.53 は軟化(硬2D) 主体。 23.71 ~ 23.95 m、80~90°の高角度割れ目は2.5% 粘岩質。 24.06 ~ 24.22 m は硬2C 主体。 24.37 m、45° 厚さ2% 粘岩質。 24.53 ~ 26.70 m は硬2C 主体。 上位より割れ目の幅が小さくなる。割れ目は24.60~24.72 m、80~90° 厚さ1~5% の20% 粘岩質に付着している。			
	23.95								✓	✓	✓	γ	2	0		5	C2	
2.4	23.71							Gp						0	5	22.69 ~ 22.91 m 付近は硬2D、22.69~23.71 m は硬2C、23.71 m 付近は硬2D 主体で、硬2C 主体の部分では割れ目の充填物も分布しているものが多い。 21.55~21.65 m 付近は砂状部と硬2C 及び2D 岩片の砂状化に付着。粘岩質に付着している。 21.70~22.40 m 高角度割れ目主体で、厚さ1%以下で2% 厚さ20% 粘岩質中幅1~2%の軟質白色粘岩質に分布。 22.03~22.63 m、70~90°の弯曲した連続する割れ目。幅5~10% 砂状化。幅1~2%の軟質粘岩質に付着。 22.10~22.45 m、一部に硬2C 粘岩質。 22.50~22.64 m、上端60°幅2~3% 粘岩質、下端45°幅1% 粘岩質に付着して軟化著しく、一部で幅2.5% 白色粘岩質に付着している。 22.91~23.41 m、45°前後の割れ目が同方向に分布。粘岩質に直交する60°前後の80~90°割れ目も認められる。 23.45~23.71 m に幅1~3% 粘岩質白色粘岩質に付着。80°割れ目の分布。 23.71 ~ 24.53 は軟化(硬2D) 主体。 23.71 ~ 23.95 m、80~90°の高角度割れ目は2.5% 粘岩質。 24.06 ~ 24.22 m は硬2C 主体。 24.37 m、45° 厚さ2% 粘岩質。 24.53 ~ 26.70 m は硬2C 主体。 上位より割れ目の幅が小さくなる。割れ目は24.60~24.72 m、80~90° 厚さ1~5% の20% 粘岩質に付着している。		
	23.95									✓	✓	✓	γ	2	0		5	C2
0.5	24.53								Gp						0	5	22.69 ~ 22.91 m 付近は硬2D、22.69~23.71 m は硬2C、23.71 m 付近は硬2D 主体で、硬2C 主体の部分では割れ目の充填物も分布しているものが多い。 21.55~21.65 m 付近は砂状部と硬2C 及び2D 岩片の砂状化に付着。粘岩質に付着している。 21.70~22.40 m 高角度割れ目主体で、厚さ1%以下で2% 厚さ20% 粘岩質中幅1~2%の軟質白色粘岩質に分布。 22.03~22.63 m、70~90°の弯曲した連続する割れ目。幅5~10% 砂状化。幅1~2%の軟質粘岩質に付着。 22.10~22.45 m、一部に硬2C 粘岩質。 22.50~22.64 m、上端60°幅2~3% 粘岩質、下端45°幅1% 粘岩質に付着して軟化著しく、一部で幅2.5% 白色粘岩質に付着している。 22.91~23.41 m、45°前後の割れ目が同方向に分布。粘岩質に直交する60°前後の80~90°割れ目も認められる。 23.45~23.71 m に幅1~3% 粘岩質白色粘岩質に付着。80°割れ目の分布。 23.71 ~ 24.53 は軟化(硬2D) 主体。 23.71 ~ 23.95 m、80~90°の高角度割れ目は2.5% 粘岩質。 24.06 ~ 24.22 m は硬2C 主体。 24.37 m、45° 厚さ2% 粘岩質。 24.53 ~ 26.70 m は硬2C 主体。 上位より割れ目の幅が小さくなる。割れ目は24.60~24.72 m、80~90° 厚さ1~5% の20% 粘岩質に付着している。	
	24.53										✓	✓	✓	γ	2	0		5
2.5	24.53									Gp						0	5	22.69 ~ 22.91 m 付近は硬2D、22.69~23.71 m は硬2C、23.71 m 付近は硬2D 主体で、硬2C 主体の部分では割れ目の充填物も分布しているものが多い。 21.55~21.65 m 付近は砂状部と硬2C 及び2D 岩片の砂状化に付着。粘岩質に付着している。 21.70~22.40 m 高角度割れ目主体で、厚さ1%以下で2% 厚さ20% 粘岩質中幅1~2%の軟質白色粘岩質に分布。 22.03~22.63 m、70~90°の弯曲した連続する割れ目。幅5~10% 砂状化。幅1~2%の軟質粘岩質に付着。 22.10~22.45 m、一部に硬2C 粘岩質。 22.50~22.64 m、上端60°幅2~3% 粘岩質、下端45°幅1% 粘岩質に付着して軟化著しく、一部で幅2.5% 白色粘岩質に付着している。 22.91~23.41 m、45°前後の割れ目が同方向に分布。粘岩質に直交する60°前後の80~90°割れ目も認められる。 23.45~23.71 m に幅1~3% 粘岩質白色粘岩質に付着。80°割れ目の分布。 23.71 ~ 24.53 は軟化(硬2D) 主体。 23.71 ~ 23.95 m、80~90°の高角度割れ目は2.5% 粘岩質。 24.06 ~ 24.22 m は硬2C 主体。 24.37 m、45° 厚さ2% 粘岩質。 24.53 ~ 26.70 m は硬2C 主体。 上位より割れ目の幅が小さくなる。割れ目は24.60~24.72 m、80~90° 厚さ1~5% の20% 粘岩質に付着している。
	24.53											✓	✓	✓	γ	2	0	

返却

調査名

孔番・深度

H27 B-3 (30 ~ 35)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 30 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質			
31	30.02		Gp	7.5YR 1/2 明褐色	○	IV	C	γ	2	36	26	C2
	30.45				○	IV	C	γ	2			
32	30.56		Gp	7.5YR 1/2 明褐色	○	III	B	β	2	40	17	C4
	32.21				○	III	B	β	2			
33	32.21		Gp	7.5YR 1/2 明褐色	○	IV	C	γ	2	10	10	CM
	33.09				○	IV	C	γ	2			
34	33.09		Gp	7.5YR 1/2 明褐色	○	V	δ	δ	2	0	5	C2
	34.20				○	V	δ	δ	2			
35	34.20		Gp	7.5YR 1/2 明褐色	○	IV	C	γ	2	0	9	CM
	35.94				○	IV	C	γ	2			

30.55m 地層割れ目とC1に交代して砂化している部分がある。密度の低い割れ目、中層割れ目が多い。
29.15~29.60m
30.30~30.56m 割れ目とコアの一部が軽微なマクロ破砕を受けた。

30.56~32.21m: C4
堅硬 割れ目挟持物は一部を降ろす分布する。割れ目中コアの一部は軽微なマクロ破砕を受けた。岩化は伴わない。
コア中には密度の低い割れ目の中層割れ目10層ほど分布する。

31.30m 付近は割れ目が交差し短柱状(コア5cm前後)に碎けた。

31.62~31.66m 上下端は5割れ目に囲まれ軟化した。上下端は長さ幅2cm、0.5%の軟質褐色粘土層に包まれる。

32.11m、40割れ目は24厚15~20%緑泥石化し、色調は深緑褐色化する。コア5%以下の微細な割れ目も伴う。岩化は粘土化は伴う。

32.21~33.09m: CM
一部は挟持物に包まれる。2割れ目と割れ目の主体。密度の低い割れ目とコアを含む。一部は開口化した。

33.30~33.53m 割れ目とコアの一部がマクロ破砕を受けた。岩化は伴わない。
32.53m、45厚2%軟質褐色粘土層。この上層には粘土質の硬質割れ目が分布する。

33.09~34.20m: C2
60~70%の高度割れ目が多い。一部は分岐~4cmほど降り延び、この割れ目はマクロ破砕で幅1~2%の軟質白色粘土と脈状に伴って多い。粘土化は砂化が粘土層の一部である。

33.70m 以下は2割れ目とC2の割れ目を含む。砂化は伴う。

34.20m 40割れ目は厚2~3cm、細粒の白色粘土層に包まれる。

34.20~35.94m: CM
粘土層の割れ目に挟持物は分布する。岩化の一部を含む。軽微なマクロ破砕を受けた。岩化は伴わない。
密度の低い割れ目中の中層割れ目が多い。白濁化は粘土層が多い。

調査名

孔番・深度

H27 B-3 (35 ~ 40)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 35 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分		
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				変質	
	05			2.5YR b/2 灰褐色	✓ b	✓ IV	✓ C	Y	2		CM	- 35.31m 60°割れ目厚さ3~5%の酸化.	
	35.94				X			X	✓ 8	✓ 8		- 35.47m 50°割れ目厚さ90%割れ目の酸化(変位量不明).	
	36			2.5YR b/3 灰褐色								35.94 ~ 37.30m = CH 堅硬、割れ目状態の分布(なし). 36.07 ~ 36.32m 割れ目厚さ約50%の酸化の一部でモンペライトを 含む酸化は伴わない。この層厚度の低い割れ目の 区間内に数本分布する。	
	05				✓ b	✓ III	✓ B	β	2		CH		
	36.80								✓ 4.3	✓ 1.9			
	37		Gp									- 37.03m 50°割れ目厚さ約30%の酸化(変位量不明). この50°割れ目は変位割れ目と見做す(変位量不明).	
	37.30				X			X				37.30 ~ 37.55m = CM	
	05			2.5YR b/2 灰褐色	✓ b	✓ IV	✓ C	Y	2		CM	同上位地帯、岩片の酸化可。	
	37.55				✓ b	✓ IV	✓ C	δ	2		CL	37.55 ~ 37.69m = CL 上下部E202脈に同様な酸化の進入を認め、20%の酸化可。	
	37.69				✓ c	✓ IV	✓ E	ε	3		DV	37.69 ~ 37.81m = D 50~60°割れ目厚さ約20%の酸化可。厚さ1%以下の細粒状脈分布。	
	37.81				X							37.81 ~ 38.50m = CL	
	38				✓ c	✓ IV	✓ C	Y	2	16	16	CL	38.21m以下では50°前後の割れ目厚さ約10%の酸化。酸化水進行。 酸化量の多い～細粒状脈分布も伴う。 厚さ1~2%/m
	05				X			δ	3				
	38.50				✓ b	✓ IV	✓ B	Y	2		CM	38.50 ~ 39.14m = CM 一部で中層割れ目を含む。層厚は厚、酸化の進行は 容易に酸化可。	
	39								✓ 10	✓ 10			
	39.74				X			X				39.14 ~ 40.77m = CL 層厚度の低い割れ目厚さ約50%。酸化の進行は 容易に酸化可。 割れ目には酸化厚さ約1~3%の酸化水進行。	
	05				✓ c	✓ IV	✓ C	Y	2		CL		
	40								✓ 10	✓ 10			

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 (45 m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長 ROD	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質			
	05	45.66			b	IV	c	γ	2			CM
	46	46.14			c	V	d	δ	3	12	12	CL
	05											
	47		Gp	25R 1/2 明褐色	b	IV	B	γ	2	21	11	CM
	05	47.58			c	V	d	δ	2			CL
		47.77										
	48				b	IV	B	β	2			CM
	05	48.61										
	49				c	V	c	δ	3	6	6	CL
	05											
50										0	7	

45.00 ~ 45.66 m : CM
 ・45.00 ~ 45.40 m に 80-90° の高角度割れ目が連続。交差する割れ目の一部は高角度割れ目と一致している。
 ・45.41 ~ 45.50 m、割れ目が交差。一部が 5 ~ 20% に片状化。粘り強さは低い。

45.66 ~ 46.14 m : CL
 同様に割れ目には細片化 ~ 砂状化が認められる。
 ・45.96 m 以下は「硬質」の硬質岩質が含む。少量の粘り強さは粘り強さは低いに感じている。

46.14 ~ 47.58 m : CM
 堅硬な岩石が多数長石の白濁化が認められる。
 割れ目挟持物はほとんど分布しない。
 47.00 ~ 47.23 m 以下は割れ目割れ目岩質の一部が「硬質」の硬質岩質が認められる。

47.58 ~ 47.77 m : CL
 35 ~ 40% 割れ目が多く、20% 割れ目に厚さ 2-5% 程度砂状化 ~ 細片化

47.77 ~ 48.61 m : CM
 堅硬な岩石の白濁化が認められる。一部は低角度の低い割れ目を含む。
 割れ目挟持物は分布しない。

48.61 ~ 49.69 m : CL
 「硬質」の硬質岩質が交互に分布する。
 粘り強さの低い割れ目 + 粘り強さの低い割れ目を含む。
 割れ目には厚さ 10% 程度砂状化 ~ 砂状化の進んだ部分を含む。
 ・48.61 ~ 50.56 m は「硬質」主体で、48.89 ~ 49.40 m 厚さ 15%、50.18 m、50.35 m 厚さ 30% の砂状化 ~ 細片化の進んだ粘り強さは低い。

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 50 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質			
05	50.56				✓ c	✓ v	✓ c	δ	3			
					→	x	x	x	x		C _L ✓	
51	51.76		Gp	7.5YR 7/2 明褐灰	✓ c	✓ v	✓ c	δ	3	0 4		
					x	x	x	x	x			
05					✓ c	✓ v	✓ c	δ	3			
52	52.00		Gp		x	x	x	x	x	0 4		
					✓ c	✓ v	✓ c	δ	3			
	52.32				x	x	x	x	x			
05					✓ c	✓ v	✓ c	γ	2			
	52.75				x	x	x	x	x			
53	53.10				✓ c	✓ v	✓ c	δ	3	0 6		
					x	x	x	x	x			
05				7.5YR 7/3 赤褐色	✓ c	✓ v	✓ c	δ	3			
					x	x	x	x	x			
	53.85				✓ c	✓ v	✓ c	δ	3	0 6		
54					x	x	x	x	x		C _L	
					✓ c	✓ v	✓ c	δ	3			
	54.31				x	x	x	x	x			
05					✓ c	✓ v	✓ c	δ	3			
55										0 5		

50.00 ~ 50.42 m 20°前後の微細な片状割れ目が放射状に分布し、互に連続する。この割れ目はハニシの層状で合流するものもある。

50.56 ~ 51.16 m は硬さ「D」主体で、30 ~ 50割れ目が多く割れ目幅は厚さ2 ~ 3mmと薄く、砂状部はほとんどない。岩片自身も上下区には軽微化している。

51.16 ~ 52.00 m は硬さ「C」主体。

51.35 ~ 51.64 m 間は割れ目が交差し、交差部は特に砂状部が拡大している。一部は軽微化が少量伴っている。

52.00 ~ 52.32 m
10 ~ 20mm 硬さ「C」の岩片と岩片間の狭い砂状部がある。

52.32 ~ 52.75 m
長石の白濁化が著しい硬さ「C」と硬質。一部は硬さ「B」も含む。一部は軽微度の低い割れ目も存在。

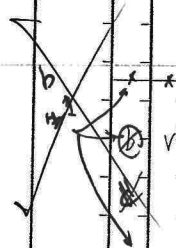
52.75 ~ 53.10 m
岩片自身の硬さ「B」と軽微化部。一部は硬さ「C」の残存。

53.10 ~ 53.82 m
軽微度の低い割れ目が多い。一部は砂状部も軽微化している。割れ目の一部は軽微化し、白色粘土質のものが多く、色調が「黄褐色」帯的になる。

53.40 ~ 53.60 m 間は硬さ「B」に近い。割れ目の鉄錆地もほとんど分布しない。

53.85 ~ 54.31 m 間は割れ目軽微化が少なく。

54.35 ~ 54.59 m 割れ目の中でも岩片の一部が軽微化が著しく、鉄錆地も、黒褐色化する。



コア下部 ↓

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化			
55	55.00										
56	55.82			25YR 7/3	✓	✓	✓	δ	3		
56	56.69										
57	56.72										
57	57.29		Gp	10YR 6/2	✓	✓	✓	γ	3		
58	57.72										
58	58.51			25YR 6/2	✓	✓	✓	δ	3		
59	58.09										
59	58.94										
59	58.98										
59	59.07										
59	59.69			25YR 6/2	✓	✓	✓	γ	3		
60	60.00										

55.00 ~ 55.55 m: 割れ目の砂状化の箇所が粘土に
はさまれ割れ目が多い。

55.00 m: 25YR 5~10%の淡黄色粘土に
はさまれ、粘土面下
に厚2.0cmの砂状部存在。

55.82 ~ 56.69 m
割れ目に挟まれた分布の砂状部が多い。

56.00 ~ 56.30 m: 73 ~ 90°の伸縮の高度割れ目
に粘土。下部は砂状部が
多く。

56.69 ~ 57.22 m: 破砕帯 (主断面 56.72 m)

56.69 ~ 56.72 m: HJ
上端30°の液状化、下端31°の液状化に連続。中0~10%硬さ
の主体の薄片と薄片間の一部が砂状部~粘土化部分あり。砂
粘土混じり砂状部。主断面の液状化は、斜に平行して平行な
微細割れ目分布。色調は淡黄(2.5Y 7/3) ~ 黄灰(2.5Y 6/2)、厚2.0cm。

56.72 m: Hc-1
31°の液状化に連続。4.1%の石英粒と粘土に(5%以下)
含有軟質粘土(砂)色調は淡黄(2.5Y 7/3)、厚1.0cm

57.29 ~ 57.72 m: D
割れ目の砂状化の粘土の一部が砂状部と粘土化部
に割れ目の一部が砂状部。

57.72 ~ 58.51 m: C2
40~50°の割れ目主体。砂状部。砂状部と粘土化部の多い割れ目
密集部
砂は主体に割れ目状の物が多い。

58.51 m以下は砂状部と粘土化部の20%の砂状部と粘土化部。

58.68 m: 10°の幅1~3cm、58.82 m~45°の幅7cmの石英粒分布

58.89 ~ 58.98 m: 破砕帯 (主断面 58.98 m)

58.89 ~ 58.94 m: HJ
上端20°の液状化、下端25°の液状化に連続。20~30°の液状化に砂状部
割れ目の砂状化、薄片間の一部に淡黄~灰黄の軟質粘土は
あり。硬さE、主体の粘土混じり砂状部。色調は淡黄(10YR 6/2)、厚4.0cm

58.94 ~ 58.96 m: Hb
25°の液状化に連続。φ2.4mmの石英粒、φ5mmの硬さD
の薄片に20~30%含有半固結状の軟質粘土。色調は淡黄(10YR 6/2)、厚2.5cm

58.96 ~ 58.98 m: Hc-2
25°の液状化に連続。φ2.4mmの石英粒、硬質薄片と5~10%含有
軟質粘土(砂)。色調は淡黄(10YR 6/2)、厚2.5cm

58.98 ~ 59.07 m: C2
58.98 m: 破砕帯 (主断面 59.07 m)

59.69 ~ 59.75 m: 破砕帯 (主断面 59.69 m)

59.69 m: Hc-1

↑
P
部分
↓
砂
粘土

調査名

孔番・深度

H27 B-3 (60 ~ 65)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 60 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長 ROD	岩級区分	破砕度区分	記事・破砕性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの種類	風化	変質				
0.5				25YR 6/2 灰褐	✓ b	✓ IV	✓ C	✓ γ	2		CM	<p>62.22下端は連続的に連続。石英粒、片はほとんど含まない粘質粘土(0.2%)。色調は黄褐(10YR 5/6)、厚さ1mm</p> <p>59.69 ~ 59.75 m : HJ</p> <p>上端59.75下端37.02までは連続的に連続。φ5~20%の硬2D粘土と粘片同の砂状部がある。粘土の粘り粘片状。粘土は分布不均。色調はR6.0Y 5/3。厚さ40~60%</p> <p>59.75 ~ 60.00 m : CL</p> <p>割目塊状物の分布は少ない。</p> <p>60.00 ~ 61.40 m : CM</p> <p>粘着度の低い割目と粘着割目とを含む割目の存在物は少ない。</p> <p>粘着割目と粘着の一部は軽微な20%の粘着を受け。</p>	
0.5	61.33 61.40			25YR 6/3 灰褐	✓ c	✓ V	✓ D	✓ δ	3		CL	<p>61.40 ~ 61.67 m : CL</p> <p>割目と粘土に砂状化の進む。</p> <p>61.67 ~ 61.51 m : 20%の粘着はF1黒褐色化する。</p>	
0.5	61.67				✓ b	✓ IV	✓ C	✓ γ	2	0	3	CM	<p>61.67 ~ 62.23 m : CM</p> <p>粘片の一部は硬2Dの硬2Dと含む</p> <p>割目と粘土は粘土の粘着を受け、粘土は粘り粘片状。</p>
0.5	62.23		GP		✓ c	✓ V	✓ D	✓ δ	3				<p>62.23 ~ 64.25 m : CL</p> <p>硬2Dと粘土の粘り粘片状の粘り粘片状。</p> <p>粘土の粘り粘片状の粘り粘片状の粘り粘片状。</p> <p>粘土の粘り粘片状の粘り粘片状の粘り粘片状。</p>
0.5	63.04			25YR 6/2 灰褐	✓ c	✓ V	✓ D	✓ δ	3				<p>62.92 ~ 62.93 m : φ5~20%の硬2D粘土と粘片同の砂状化。粘り粘片状の粘り粘片状。</p> <p>粘土の粘り粘片状の粘り粘片状の粘り粘片状。</p> <p>62.93 ~ 63.03 m : 30%の粘土と粘土の粘り粘片状。</p> <p>63.04 ~ 64.17 m : 硬2Dの粘土と粘土の粘り粘片状。</p> <p>63.60 ~ 63.70 m : 粘土の粘り粘片状の粘り粘片状。</p>
0.5	64.17				X	✓ c	✓ V	✓ D	✓ δ	3			<p>64.17 ~ 64.52 m : 粘土の粘り粘片状の粘り粘片状。</p> <p>粘土の粘り粘片状の粘り粘片状の粘り粘片状。</p> <p>粘土の粘り粘片状の粘り粘片状の粘り粘片状。</p>
0.5	64.52				✓ c	✓ V	✓ D	✓ δ	3				<p>64.52 ~ 64.72 m : CM</p> <p>粘土の粘り粘片状の粘り粘片状の粘り粘片状。</p> <p>粘土の粘り粘片状の粘り粘片状の粘り粘片状。</p>
0.5	64.72			25YR 6/4 R6.0Y 5/3	✓ b	✓ IV	✓ C	✓ γ	2		CM	<p>65.01 m : 粘土の粘り粘片状の粘り粘片状。</p> <p>粘土の粘り粘片状の粘り粘片状の粘り粘片状。</p> <p>粘土の粘り粘片状の粘り粘片状の粘り粘片状。</p>	
0.5	65.01				✓ b	✓ IV	✓ C	✓ γ	2	0	4		<p>65.01 m : 粘土の粘り粘片状の粘り粘片状。</p> <p>粘土の粘り粘片状の粘り粘片状の粘り粘片状。</p> <p>粘土の粘り粘片状の粘り粘片状の粘り粘片状。</p>

調査名

孔番・深度

H27 B-3 (65 ~ 70)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 65 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分	
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質				
05	65.39		Gp	2.5YR 7/4 1.5の橙	✓	✓	✓	γ	2	0	7	CM	<p>65.19 m. 30° 割れ目厚 10mm 程度まで。薄く砂状部は2 は2つ。</p> <p>65.34 m. 35° 割れ目厚 2.5% の石英質部で石英 浸染状に緑泥石化。上部は20° 傾斜した砂状部が伴う。</p> <p>65.57 m. 35° 割れ目厚 20% の砂状化 ~ 45% 細片 化。</p> <p>65.61 m. 35° 割れ目厚 20% 以下は浸染状部。</p>
	65.61	2.5YR 7/2 灰褐		x	x	x	x						
66	66.25		Gp	2.5YR 6/3 R2.5の黄	✓	✓	✓	γ	2	0	7	CM	<p>66.09 m. 55° 割れ目厚 10mm 程度まで。浸染状部が伴う。 2つ。</p> <p>66.37 ~ 66.40 m. 30° 割れ目厚 30~40% 浸染状部の 緑泥石化。2つ ~ 細片化部が緑泥石化に伴う。</p> <p>66.39 ~ 66.66 m = C2</p> <p>割れ目下の浸染状部が浸染物が多い。一部は割れ目厚 20mm 程度まで浸染部が伴う。</p> <p>浸染部の低い緑泥化は風化割れ目厚 10mm 程度で 浸染部が伴う。</p>
	66.39												
05	67.00		Gp	2.5YR 7/2 明褐灰	✓	✓	✓	δ	2	0	9	C2	<p>67.12 m. 55° 割れ目厚 5% 程度まで浸染部は2つ。 割れ目は浸染状部。</p> <p>67.30 ~ 67.70 m. 60~80° の高角度割れ目間では 40% 前後で浸染部が伴う。上部は20° 傾斜した砂状部が伴う。</p>
	67.18												
68	68.06		Gp	2.5YR 7/2 明褐灰	x	x				0	6	D	<p>68.06 ~ 68.93 m = D</p> <p>15mm 程度の砂状化が最大。40~20% 浸染「D」の 浸染部が伴う。上部は20° 傾斜した砂状部が伴う。</p> <p>68.40 ~ 68.60 m は浸染「D」の浸染部が伴う。</p> <p>68.67 m. 30° 割れ目厚 15mm 程度の浸染部が伴う。上部は20° 傾斜した砂状部が伴う。 浸染状部。上部は20° 傾斜した砂状部が伴う。</p>
	68.60												
05	68.71		Gp	2.5YR 7/3 1.5の橙	✓	✓	✓	ε	3	0	2	C2	<p>68.93 ~ 70.10 m = C2</p> <p>30° 前後の割れ目が主体で。割れ目厚は浸染部が伴うとは2つ は2つ。一部は厚さ 10mm 程度まで浸染部が伴う。厚さ 1mm 程度の浸染部が伴う。 浸染部が伴う。上部は20° 傾斜した砂状部が伴う。</p>
	68.93												
69	69.95		Gp	2.5YR 7/2 明褐灰	x	x	x	δ	3	0	4	C2	<p>69.20 ~ 浸染部は一部は割れ目厚と浸染部が伴う。上部は20° 傾斜した砂状部が伴う。 浸染部が伴う。</p>
	69.95												
70	70.00												

調査名

孔番・深度

427B-3 (70 ~ 75)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 70 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				ROD	最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
	70.10				△	✓	△	γ	2		C _L ✓	
	0.5				△	✓	△	γ	2			
	71			25R 1/2 明褐灰	△	✓	△	δ	4	0	2	D✓
	0.5				△	✓	△	δ	4	0	2	
	71.72				×	×	×					
	72		Gp		△	✓	△	δ	3	0	2	C _L ✓
	0.5				△	✓	△	δ	3	0	2	
	72.65				×	×	×	×	×			
	72.93				△	✓	△	δ	3	0	3	D✓
	73				△	✓	△	δ	4	0	3	
	73.11				△	✓	△	δ	4	0	3	
	73.38				×	×	×	×	×			
	0.5				×	×	×	×	×			
	74			25R 1/2 灰褐	△	✓	△	δ	3	0	5	C _L ✓
	0.5				△	✓	△	δ	3	0	5	
	75				△	✓	△	δ	3	0	5	
	75.00				△	✓	△	δ	3	0	5	

70.10 ~ 71.72 m : D
 風化と変質と著しく軟化しており、岩組織と割れ目は残存している。
 近づくほど「D」の岩片が増える。約 30 m 以上深さで岩片量多くなる。

71.72 ~ 72.93 m : D
 25°の放射状、マカソンの脈状に分布している。下盤側厚さ10%の硬化した緑泥石化部がある。
 72.20 ~ 71.30 m は粘土化部、砂状化部と厚さ1%の粘土化部を網状に分布する部がある。

72.93 ~ 74.04 m : D
 71.30 m 以上深さは硬さの岩片と変質部の粘土化・砂状化部がある。部分的に1~2%の石英と20%の磁鉄鉱による点状色がある。

74.04 ~ 72.76 m : C_L
 10~20%の硬さの岩片あり。一部の岩片は粘土化・砂状化部がある。
 全体の密度の低い割れ目の中層割れ目が多く、1.2-の打撃で容易に細砕化する。

72.76 ~ 72.17 m : D
 20°の放射状の硬さの岩片は面に沿って緑色化し砂状化が増えている。

72.17 ~ 73.38 m : D
 72.93 ~ 73.11 m は変質と岩組織と割れ目は消滅し細砕化している。
 上記以外には岩組織と割れ目の一部が残存する。また硬さの岩片の一部が残存する。

73.38 ~ 73.19 m : D
 20°の放射状に厚さ10~15%の「マカソン」脈状に分布

73.19 ~ 74.23 m : C_L
 一部の硬さの岩片を含む。全体の密度は軟化の侵入による硬さの岩片主体。
 密度の低い割れ目の中層割れ目約10%前後で密に分布する。

74.23 ~ 75.00 m : D
 73.38 ~ 73.58 m 硬さの岩片の一部の割れ目に軟化を厚さ1~3%の白色粘土化部がある。
 74.04 m、25°の放射状に厚さ20%の軟化部。
 74.29 ~ 74.48 m、20~30°の放射状に粘土化と20%の磁鉄鉱による細い密度の低い割れ目も数多くある。

74.72 ~ 74.84 m : D
 硬さの岩片主体。密度の低い割れ目も数多くある。

調査名		孔番・深度		H27 B-3 (75 ~ 80)		観察日					
標尺 75 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分	基盤岩コア観察カード 記事・破砕性状・詳細スケッチ等
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ				
75											<p>75.05 ~ 75.56 m 割れ目の一部に幅1~2%の白色軟質粘土の脈状に付着する。</p> <p>75.46 m 0°幅3~5%の硬質部が斜交の割れ目によって連続する。粘土質の劣化は伴わない。</p> <p>75.80 ~ 75.87 m コア42-ブリエル時に取れた10%前後の深状コアコア。</p> <p>76.11 ~ 76.23 m 10~20°低角度割れ目が多い。一部は白色粘土(幅0.5%)に付着。</p>
76											<p>76.23 ~ 76.59 m: D</p> <p>76.41 m 以下は3~5%の細粒粘土粘土化に伴う。</p> <p>76.41 m 以下は大部分が剥離(2%)。1日割れ目部分にて、マシンの破砕点状に分布する。</p> <p>76.59 ~ 76.65 m: Hb</p> <p>66.59 m: Hc-1</p> <p>47°以下端部にて連続的に連続。9~10%石英粒と粘土(5%以下)を含む軟質粘土(粘土)。色調は明黄褐色(2.5Y 7/6)。厚さ1mm</p> <p>76.59 ~ 76.65 m: Hb</p> <p>上端47°、下端55°時に連続的に連続。マシンの破砕点状に黒色粘土と9~10%石英粒、9~10%粘土と硬質部(20~30%含む軟質部・硬質粘土)を呈す。主として断面とほぼ平行な割れ目(目)が分布。色調は灰白(2.5Y 8/1)~灰白(2.5Y 7/5)。厚さ40~50mm</p> <p>76.65 ~ 76.89 m: HJ</p> <p>上端55°、下端37°時に連続的に連続。9~10%硬質部、粘土質部と中間の粘土化部が分布。「粘土質(高片状)」を呈す。76.70 mと76.78 mに主として断面と平行な割れ目(目)が分布。一部はマシンの破砕点状。色調は灰白(2.5Y 7/4)~灰白(2.5Y 7/2)。厚さ240% (27%)</p>
76	76.23										
76	76.59		Gp								
76	76.65										
76	76.89										
77											<p>76.89 ~ 77.15 m: C</p> <p>硬質部(高片状)主体で硬質部が部分的に硬質部も含む。割れ目には粘土化と劣化が進行。特に破砕帯直下の76.89 ~ 77.00 mで粘土化が進行している。</p> <p>割れ目は30~40°の傾斜を呈するものが多い。一部は消滅しているものもある。</p> <p>10~20°の高角度系は主として、急角度の低い割れ目が多い。</p> <p>77.50 ~ 77.65 m、10%前後の大型の石英結晶が点在。</p>
77											
77	77.15		Gp								
77	77.85										
78											<p>77.71 ~ 77.77 m 9~10%細粒状~粘状の砂状量あり</p> <p>77.77 ~ 77.85 m 硬質部、硬質部。</p> <p>78.05 m 以下は粘状細粒の分布が多い。</p> <p>77.15 ~ 78.03 m: D</p> <p>主として変質による粘土化の進行。劣化(粘土)。</p> <p>一部は45~20%程度の硬質部(高片状)が分布。粘土化に伴って粘状細粒と割れ目の一部は消滅する。</p> <p>割れ目は10~30°と低角度系が連続。</p>
78											
78	77.85										
78	78.05										
79											
79	79.15										
79											
79	79.15										
80											

75
76
77

1
0

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 85 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化			
05	85.03		GP	25YR 4/6 灰褐	✓	✓	✓	δ	4	✓	C ₂
	85.61			25YR 4/3 灰褐	✓	✓	✓	δ	3		
05	85.70		GP		X	X				✓	D
	86.50			25YR 5/1 褐灰	✓	✓	✓	δ	4		
05	87.18		GP			X				✓	D
	87.52			10YR 6/3 黄褐色	✓	✓	✓	ε	3		
05	88.18		GP			X	X	X		✓	D
	88.52				✓	✓	✓	ε	3		
05	89.00		GP			X	X	X		✓	D
	89.36				✓	✓	✓	ε	3		
05	90.00		GP	25YR 7/2 明褐灰						✓	D

85.03 ~ 85.61 m : C₂
 一部に硬土「c」層が含有され、割れ目等に砂状化が認められる。
 85.61 ~ 85.70 m 間は割れ目等の砂状化が認められる。
 85.70 ~ 85.80 m 間は緑泥石化し、淡緑黄色を呈する。
 90.5 m 以下の微細な黄鉄鉱を伴う。

85.61 ~ 86.50 m : D
 硬土「c」層と粘片層の粘土化~砂状化部が認められ、全体的に軟化が著しい。

86.50 ~ 87.18 m. 40 ~ 50 割れ目等に硬土「c」層の粘片が認められる。粘片中には細小割れ目が多く、一部は割れ目による細粒化が認められる。

87.18 ~ 88.18 m は、全体的に砂状化が認められ、粘片層の硬土「c」層と粘片層の「砂状化」が認められる。
 1975. 87.18 ~ 87.52 m の基質部は2314である。

88.18 ~ 89.00 m は、粘片層(20)粘片層が認められ、割れ目認識が認められる。

89.00 ~ 90.14 m は、2層に相当する粘片層の採取した、基質に相当する砂状~粘土状部は、粘土層の底面(粘土層)に相当する。